

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/08号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

米地方銀行破たんのリスクで急落

NY原油先物相場は、1バレル=75ドル水準での保ち合いを経て、5月4日には63.64ドルまで急落し、年初来安値を更新した。米地方銀行の経営不安が投資家のリスク選好性を後退させたことで、原油市場でもファンドの売りが加速した。75ドル、70ドル、65ドルと節目となる価格水準を一気に割り込む展開になった。しかし、週末にかけては短期的な売られ過ぎ感、4月雇用統計が強めの数値になったことを手掛りに71ドル台まで急反発する展開になった。前週末から最大で13.14ドル安となったが、週末時点では5.44ドル安まで下げ幅を圧縮した。

原油需給とはあまり関係のない値動きになっている。米地方銀行の連鎖破たんの恐怖が広がりを見せる中、投資家のリスク選好性が後退していることが、原油相場の急落を促す展開になった。3月と同様にリスクを取れるか否かのみが重視されている。5月入りしたことで石油輸出国機構（OPEC）プラス参加国の追加減産が始まるも、米原油在庫減少も含めて需給関連の動向は殆ど材料視されなかった。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（4月28日時点）は、原油が前週比128万バレル減、ガソリンが174万バレル増、石油精製品が119万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

不安定な投資環境に左右される、米地銀破綻だと上値重い

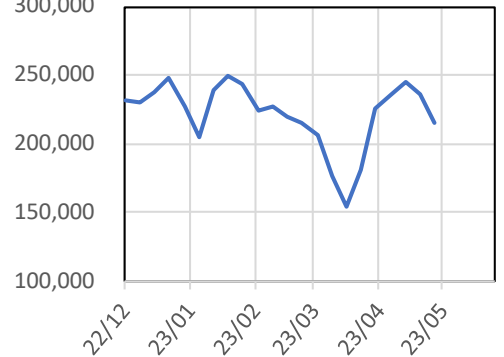
リスク投資環境の地合が不安定化する中、上値の重い展開が続き易い。特に米地方銀行株の急落が続き、新たな経営破たんが発生などがみられると、改めてファンドの売りが膨らみ易い。前週は一時65ドルの節目も割り込んだことで、60～65ドル水準まで下落するリスクを想定しておく必要がある。短期投機筋主導の高ボラティリティ環境が続き易く見通し。

米銀行の信用不安以外にも、米連邦債務の上限問題、世界経済の減速懸念なども投資環境の悪化を促がしている。原油以外にも産業用素材市況全体の値位置が切り下がっているだけに、リスクオフ環境を背景とした値下がりリスクを払しょくすることが難しい状態が続く。投資家が安全性を求めていることで、コモディティ市場では安全資産である金が独り勝ちの状態にあり、産業用素材市況は突発的な急落リスクを抱えた状態が続く。

3月に米金融不安で急落した際には、米連邦準備制度理事会（FRB）の流動性供給、預金保護の方針などがリスク資産全体の落ち着きを促し、原油相場は3月20日の64.36ドルをボトムに、最終的には4月12日の83.53ドルまで切り返している。これと同様の流れがみられると、短期投機筋主導でオーバーシュート気味の安値が形成されているだけに、マーケット環境が急変する可能性がある。投機マネーの瞬間的な動向を見ながらの展開が続こう。

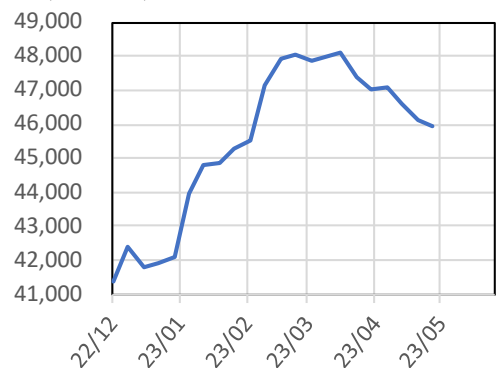
一方、中国の労働節中の行楽需要は堅調であり、5月から石油輸出国機構（OPEC）プラス参加国の追加減産が始まっている。下げ過ぎとの評価が強まると、値固めに移行する可能性はある。5月11日にOPEC月報が公表予定になっている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



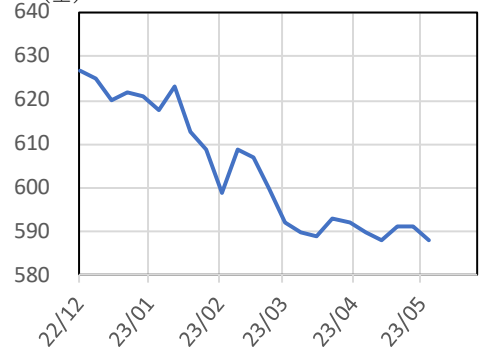
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

